

# 津幡町河合谷地域活性化プロジェクト

団体名●石川ゼミナール／代表者名●石川美澄（経済学部地域システム学科・教授）

## はじめに(背景・目的・目標)

石川県津幡町河合谷地区には、木窪大滝や「牛舞坊」等の豊かな自然・文化資源と、小学校改築のために村(旧河合谷村)をあげて禁酒に取り組んだという全国的に見てもユニークな歴史をもつ地域である。しかしながら、地区人口は1990年に比べて約60%減少するなど高齢化が進んでいる。

3年目となる今年度は、これまでと同様に河合谷公民館を中核に、石川県立大学瀧本研究室や本学スポーツ学科の西村ゼミナールも実施運営に携わった。

## 活動内容

今年度の主な活動内容を表にまとめた。これらの活動は石川ゼミナールの2年生(8人)が中心となり、河合谷公民館や町内外の事業者の方々との意見交換や各種調整を行いながら進めた。秋イベントの開催以外にも、秋の収穫祭での販売補助や冬の地区行事への参加を通じて、住民の方々との交流を図ったり、地域の歴史や魅力について理解を深めたりした。

表1：2025年度の主な活動内容等

時期	主な活動内容・学生の参加人数等
5月	河合谷公民館ならびに地域内事業者との打ち合わせ(石川ゼミ8名)
7月	キッチンカー出店に関する打ち合わせ(石川ゼミ1名)
9月	学内にて秋イベントの準備(石川ゼミ3~8名)
10月	秋イベントに向けて準備等(石川ゼミ8名)／オータムフェスティバル(10月18日開催、石川ゼミ16名、西村ゼミ6名、瀧本研究室4名、イベント参加者延べおおよそ100名)
11月	河合谷の郷 第28回収穫祭り(石川ゼミ8名)
1月	ぼたん雪祭り(石川ゼミ4名)

## 成果、結果の考察

今年度の秋イベントでは、新たなプログラムを複数取り入れるとともに、地区内外の事業者とも新たな協力関係を結ぶことができた。具体的には、前者としては「防災クイズ」や自然の落ち葉などを見つけて巡る「自然みつけ」を実施した。後者としては「慶専寺cafe 蔵」のアサイーボウルや「河合谷の郷即売所」の

おにぎりの販売、河合谷の米粉を使ったグルメを提供するキッチンカー等を通して、来場者の方々に河合谷地区の飲食店や河合谷産の米の紹介ができた。なお、秋イベント当日は強風のため予定終了時刻よりも早めに終了した。

また、秋イベントを通して仲良くなった地区の子どもたちと11月、1月の地区行事で再会し、交流できたことは、大学生・子どもの双方にとって「楽しい思い出」として残ったと思われる。

## 今後の課題、展望

本学や他大学の複数ゼミ等が本活動に関わることが継続性という点で重要であると考える。来年度も、秋イベントの企画運営だけでなく河合谷地区との継続的・多面的な連携のあり方を探っていききたい。



写真1：「防災クイズ」の様子



写真2：収穫祭終了後に始まったカード遊び